

協働の まちづくり オールスター ミーティング



10月9日（月祝）に第1回「協働のまちづくりオールスターミーティング」を開催しました。犬山に住む人、犬山で働く人、犬山で活動する人など、犬山のまちづくりに関わる市民が20名集まり、活発な対話が行われました。

このミーティングは、5年毎の犬山市協働のまちづくり基本条例（以下、基本条例）の見直しの機会に、まちづくりに関わる多様な人が集まり、協働のまちづくりが犬山でどのくらい進んでいるのか、今後どのように取り組んでいくか、などを考えていくものです。

その初回となる今回は、まず基本条例に何が規定されているのか、内容の確認を行い、これまでの5年間を「個人の視点」と「まちの視点」でふりかえり、それぞれの成果や課題などを共有しました。

様々な視点で見る犬山を共有し、コロナ禍を経た協働のまちづくりを考える機会となりました。

第1回のテーマ 数字で知る犬山の5年

「犬山市協働のまちづくり基本条例」ができた令和元年からこれまでの5年間を、わたしの視点、まち視点でふりかえてみよう！

R5 10/9（月祝）
犬山市役所 2階
201～203会議室

《プログラム》

- 1.はじめのあいさつ
- 2.おはなし（前提共有）/事務局より
- 3.ときほぐし（アイスブレイク）
- 4.GW①「ふりかえろう。わたしの5年」
- 5.ティーブレイク
- 6.数字で見る「犬山の5年」/事務局より
- 7.GW②「ふりかえろう。まちの5年」
- 8.収穫（ハーベスト）

1 はじめのあいさつ 2 おはなし/事務局

基本条例では「実効性の確保」として、5年に1度、条例の見直しを規定しており、令和6年が条例制定から5年目の年になります。しかし、コロナ禍によりまちづくりの活動が困難となったことによって、条文を見直す以前に、条例の趣旨自体が広く浸透していません。そこで、まずは皆さんに、条例を理解してもらい、改めて協働のまちづくりとは何かを考える機会としていきたいと思っています。

また、この条例は「いぬやま未来会議」の市民メンバーが何度も集まって作った、思いの詰まった大事な条例です。当時の思いを尊重しながら、次の5年に向けて協働のまちづくりを考えていきましょう！



協働のまちづくり基本条例の構成

前文 犬山のまちづくりへの思い	第4章 市民参加と協働 市民参加と協働の推進や支援、選挙
第1章 総則 条例の位置付けや定義	第5章 市政運営 総合計画の策定、改善、情報提供
第2章 まちづくりの 基本原則 大切にしなければいけないきまり	第6章 実効性の確保 5年毎の条例の見直し
第3章 まちづくりの 担い手 まちづくりへの参加の権利や役割	

3 ときほぐし(アイスブレイク)

今日初めて会った人とペアになり、二人一組で自己紹介！



4 ふりかえろう。わたしの5年

「わたし」の5年間の充実度を線グラフで表し、得られた成果や課題などを書いて「わたしシート」を作りました。グループ内での発表では、コロナ禍という共通体験から、オンラインを活用した事業の話や、今年から復活したイベントの話などが聞かれました。

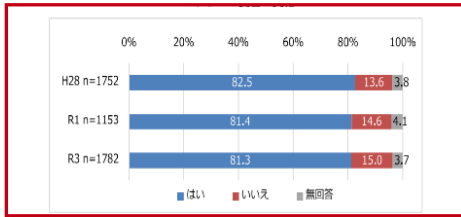
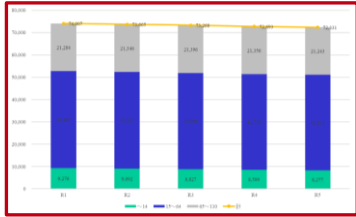


5 ティーブレーク

ちょっと一休み…はず、お互いの活動を語って、盛り上がりました！

6 数字で見る「犬山の5年」/事務局より

令和元年から令和5年までに、犬山でどんな変化があったのか、事務局からまちの数値データを紹介しました。年齢ごとの人口、世帯数、児童数、犬山城の登閣者数やゴミ処理量の増減など、まち全体に関わるところから、町内会の加入率、まちに対する愛着、つながりに対する考えの変化など、個々の市民の意識に関わるところまで、多面的にまちの姿を捉えることが出来ました。



主なできごと

- 2019年 犬山市協働のまちづくり基本条例の制定
- 2020年 コロナ禍による緊急事態宣言
- 2021年 東京オリンピック開催
- 2022年 犬山市長が交代し、山田市政から原市政へ
- 2023年 コロナが「5類感染症」に移行

7 ふりかえろう。まちの5年

今度はグループで、まちの数値データも参考にしながら、犬山市のこの5年間の成果や課題を出しあって「まちシート」を作り、最後は全体共有を行いました。

1グループ

(成果)
コロナ禍でICT化が進んだ/
リアルで会う大切さを知れた/
企業と団体のコラボ事業の増加/
城下町が流行ってる！

(課題)
情報発信の不足/
不登校児の増加/
地域団体への関わりの減少/
世代間ギャップ

2グループ

(成果)
市議の世代交代/
コロナ禍のデジタルツール活用/
令和5年からの祭り行事復活！

(課題)
行政から市民への周知が少ない/
デジタルに取り残される/
投票率の低さ/
繋がりの減少

3グループ

(成果)
コロナ禍のゴミの減少/
活動する場所の更新/
市民活動団体の増加/
やりたいことを応援してもらえた/
生活の質への気づき

(課題)
オンライン化で人との繋がりが減少/
出生数の減少/
次期パンデミックの備え/
高齢化

4グループ

(成果)
コロナ禍のデジタル化推進/
密や長時間を避けた活動/
コロナ明けで活動再開・つながり増加/
活動方法の工夫

(課題)
コロナ禍の総会・文化祭などの行事中止によるコミュニケーション不足、停滞

8 収穫 (ハーベスト)

「どの地域でも同じ課題を抱えていると感じた」「暮らしているところの関わりをもっと増やしていきたい」などの感想があげられました。「協働のまちづくり基本条例」を知らなかった参加者が多くいましたが、グループワークを通して、色々な視点からまちの現状を知り、今後を考えることができた初回になりました！

次回のご案内

日時 11月23日 (木祝) 9:30~12:00

場所 犬山市役所 201~203会議室

テーマ「次世代の『参加したい!』を促すには？」

是非お誘いあわせの上お越しください♪

問合せ

犬山市役所 地域協働課

TEL 0568-44-0349

FAX 0568-44-0367

E-mail 010410@city.inuyama.lg.jp